



今原 ゆかり 議員

### 乳幼児健診の充実について

**問** 厚生労働省は、「3歳児健康診査における視力検査の実施について」の中で、3歳児健康診査において強い屈折異常（遠視、近視、乱視）や斜視が見逃された場合、必要な治療が遅れることで、十分な視力が得られない場合があることを指摘している。目の疾病や異常を発見するために乳幼児健診では、どのような検査が行われているのか。

**答** 医療機関で行う1か月児健診では、光の凝視や追視、目の動きや目の位置など、医師が保護者からの聞き取りと、子どもの反応から発達に異常がないかを確認する。3歳児健診では、ランドルト環を使う視力検査を健診前に家庭で保護者に実施してもらう。

**問** 3歳児健診のこの時期は、視覚異常に気づき、必要な治療を開始し、生活に必要な視力を獲得するための貴重な機会である。視力検査ができない子どもは、どのくらいいるのか。

**答** 保護者が忘れてしまったり、子どもの発達の度合いにより、視力検査が未実施なのは2割ぐらいいる。この場合、5歳児健診の前に保護者に実施してもらうようにしている。

**問** 「日本小児眼科学会」は、3歳児以上の子どもへの「手持ち自動判定機能付きフォトスクリーナー装置、スポットビジョンスクリーナー」による屈折検査を推奨している。ぜひ、3歳児健診での導入を検討してほしいと思うが。

**答** この検査は、視覚異常を早期に発見し、必要な治療を開始できると考える。導入を前向きに検討していきたい。

### 高齢者等の見守りについて

**問** 高齢者の独り暮らしや高齢者夫婦のみの世帯が増えている。見守りについて、具体的にどのようなサービスがあるのか。

**答** 配食サービスによる安否確認や民生委員の定期訪問など。また、緊急通報装置の設置では、もしもの時に緊急ボタンを押すことで24時間対応の看護師資格を持つオペレーターへ繋がり、救急要請や緊急時の協力員へ連絡が入る仕組みになっている。



倉田 利奈 議員

### コロナウイルス感染拡大への対応について

**問** 感染者又は濃厚接触者で自宅待機となった方への買い物支援等はどのようなか。

**答** 県が自宅への配食サービスを行っている。また、社会福祉協議会が自宅療養者の生活支援をしている。

**問** 家庭において、介護者が感染者となった場合、検査で陰性の要介護者への対応は。

**答** 患者の状況を踏まえて保健所の指示をいただきながら、要介護者に合った支援を行う。

**問** 保護者が感染者となった場合、検査で陰性となった子どもへの対応は。

**答** 保健所から刈谷児童相談センターへ連絡が入り、一時保護で対応することもある。

**問** 診療検査を受けられる診療検査医療機関は、市内に現在7医療機関ある。そのうち公表している医療機関もあるが、高浜豊田病院の対応は。

**答** 市内では、3医療機関が公表されているが、高浜豊田病院は、公表していない。

**問** 昨年度高浜市は、高浜豊田病院へ約3億円の税金を投入している。また、地域医療の発展に貢献する病院とうたわれているので、診療検査医療機関として公表し、積極的に検査を行うべきと考える。豊田会の理事として病院経営に関わることができる市長の考えは。

**答** 補助金は、移転新築等に対するもので、新型コロナウイルス感染症対策のためのものではない。感染症対策は、病院として判断することで、市から要請することはない。

### 公共施設について

**問** 高浜市体育センターでは、予約のない時間帯に小中高生が無料で利用できる一般開放事業があったが、高小のメインアリーナでも引き続き行うことができるか。

**答** サブアリーナではおこなうが、メインアリーナについては、必要があれば検討する。

**問** アリーナの予約が重なった場合、たかはまスポーツクラブが利用調整することになっているが、調整ルールを明文化すべきでは。

**答** 調整結果を見て、市が許可を出していく。